

6 観光客の推移

現 状

近年、週休二日制の普及やハッピーマンデー等の導入により、余暇時間が増加傾向にある。また、画一的な周遊型観光から、個人の関心やテーマを出発点とする目的型観光へと趣向が変化してきており、それぞれの興味や目的によって観光を選択する傾向が強まっている。

こうした中で、本県の観光客入込み者数は、平成 14 年に若干増加したがその後減少し、平成 16 年に再び増加傾向を示しているが、総じて減少傾向を示している。

課 題

海、山、川など、多様な資源を有し、年間を通じた観光が可能である本県では、これらを活用した新たな魅力の創出と情報提供等が必要である。

特に、「観光情報提供の高度化」や「都市と農山漁村の共生・対流の推進」などを進め、本県の魅力をアピールしていく必要がある。

また、道路や空路の整備など、観光地へのアクセス性の向上を図るとともに、複数の交通機関の連携を通じて、スピードアップと乗り継ぎの円滑化を図るなど、利用者のニーズに対応した効率的で良好な交通環境づくりが必要である。

本県の観光客入込み者数の推移(単位:千人)

